

# 「わつたーウチナーンチュユ!!」 第6回世界のウチナーンチュユ大会 感動に包まれ閉幕



閉会式・グランドフィナーレ

## 世界のウチナーンチュユ大会とは

沖縄県では、戦前戦後を通じ多くの県民が移民として海外へ渡りました。海外に渡った県系人たちは、移住先で様々な困難に遭遇しますが、不屈の精神と持ち前のおおらかさで乗り越え、今では高い評価と信頼を得ています。移民世代の子孫も含め海外には、現在約42万人のウチナーンチュユがいるといわれています。

こうした沖縄県の貴重な人的財産である海外県系人の功績を称えるとともに、ウチナーネットワークの確立と発展、次世代への継承を目指して、1990年8月に第1回目の世界のウチナーンチュユ大会が開催されました。過去5回にわたる大会の成果として、ウチナー民間大使制度やWUB(ワールドワイド・ウチナーンチュユ・ビジネスアソシエーション)、ウチナーンチュユアスタデイ、世界若者ウチナーンチュユ連合会といった組織や事業が創設され、ウチナーネットワークの拡充が図られてきました。

そして今年「ウチナーの躍動・感動 世界へ響け!」をキャッチフレーズに、10月26日(水)から30日(日)までの5日間、沖縄セルラースタジアム那覇を主会場に、第6回大会が開催されました。29カ国・地域から大会史上最多の7353人が来県し、多くの県民の皆様との交流を通して、ウチナーンチュユの絆を深めました。

## 第5回世界若者ウチナーンチュユ大会

前回の第5回大会を機に発足した世界若者ウチナーンチュユ連合会(WYUA)は、大会の翌年2012年から毎年海外で「世界若者ウチナーンチュユ大会」を開催し、次世代ウチナーンチュユのネットワークを構築してきました。今年は、本大会に先立ち10月20日(木)から23日(日)にかけて県内各地を舞台に、約100名の海外ウチナーンチュユと県内の若者延べ2千名が文化、芸能、スポーツなど各分野で交流を深めました。次回大会は2018年にペルーでの開催が決定されるなど、世界若者ウチナーンチュユ連合会の存在は非常に頼もしく、今後の活躍から目が離せません。

## 前夜祭パレード・開会式

開会式を翌日に控えた10月26日(水)、「前夜祭パレード」が那覇市の国際通りで行われました。約5千8百人の海外・県外ウチナーンチュユが各国・地域独自の



第5回世界若者ウチナーンチュユ大会



前夜祭パレード



イゲハワイ州知事による来賓祝辞(開会式) 中学生による開会宣言(開会式)

の衣装を身に纏い、伝統的な音楽やダンスを披露しながら、国際通りを練り歩きました。

沿道からは「おかえりなさい」「ようこそ」など歓迎の言葉や拍手が送られ、久々の再会に抱擁や握手を交わす姿が見られるなど世界のウチナーンチュユと県民が一体となって盛り上がりました。翌10月27日(木)の開会式は、1万3千人以上の参加者で賑わう中、今年8月にウチナーンチュユアスタデイ事業に参加した中学生のフレッシュな開会宣言で幕を開けました。

海外県人会長や海外功労者、次世代代表やウチナー民間大使などの紹介がなされ、ウチナーネットワークが確実に世界に広がっていることを改めて実感し、会の締めくくりには、参加者全員で「ていんさぐぬ花」を大合唱する沖縄らしさ満載の温かい式典となりました。

## 閉会式・グランドフィナーレ

大会最終日の30日(日)、沖縄セルラースタジアム那覇は約1万5千人の参加者で満員となり、隣接する沖縄セルラークラーク那覇で約1千2百人が大型ビジョンのライブ中継を観覧するほどの大盛況の中、閉会式・グランドフィナーレが行われました。

閉会式は、主催者、来賓、海外参加者代表、次世代代表の挨拶などが厳かに行われ、世界若者ウチナーンチュユ連合会代表による2018年若者大会ペル

ー開催宣言と、大会実行委員会会長の翁長知事と県系3世の比嘉アンドレス氏、伊佐正アンドレス氏による「世界のウチナーンチュユの日」制定宣言の際には、会場内に盛大な拍手と指笛が鳴り響き祝福に包まれました。大会の最後を飾るグランドフィナーレは、沖縄で人気の若いアーティストや海外出身の県系人アーティスト、海外でも絶大な人気を誇る県出身アーティストらによるライブを参加者全員で楽しみ、5年後の再会を誓い合い、5日間にとわたる大会は幕を閉じました。



5年後の再会を誓い合う参加者の方々(閉会式・グランドフィナーレ)

## 「世界のウチナーンチュユの日」制定

今回大会の大きな成果として「世界のウチナーンチュユの日」制定が挙げられます。



「世界のウチナーンチュユの日」制定宣言(閉会式)

これまで脈々と築き上げてきた世界のウチナーネットワークを継承・発展させ、今後ますます繁栄していくことを願い、10月30日を「世界のウチナーンチュユの日」として決めました。

名護市在住の2人の若い県系3世により発案された「世界のウチナーンチュユの日」制定は、大会開催前に実施したアンケート調査や大会期間中に開催した県人会長・ウチナー民間大使等の会議の場で、世界中のウチナーンチュユから圧倒的な賛成を得て、閉会式での制定宣言に至りました。

今後、毎年世界各地で「世界のウチナーンチュユの日」を祝うイベントが開催されることでしょうか。5年毎のウチナーンチュユ大会だけでなく、毎年世界のウチナーンチュユと一緒に楽しめる取組を沖縄からも発信していきます!

第6回世界のウチナーンチュユ大会実行委員会事務局(H29年3月まで)  
電話:098-866-8060

お問い合わせ